

# 平成27年度『市民と議会との懇談会』を開催

市民と議会との懇談会を、4月21日から23日までの3日間、市内9会場で開催しました。昨年より39人多い167人（うち女性32人）の皆様から、114項目にわたる意見・提言を頂きました。（内訳7頁）これらの意見・提言は、3つの常任委員会で調査・研究を行い、市政への政策提言、要望行動につなげてまいります。承った意見等の主な内容は以下のとおりです。

## 遠野会場

- 会場：あえりあ遠野中ホール  
 参加者：14名
- 行政区の再編、統廃合について、次期総合計画の策定までには具体化を。
  - 水力など多様な再生可能エネルギーの活用。
  - 市街地の活性化を。



## 綾織会場

- 会場：綾織地区センター  
 参加者：18名
- 除排雪困難箇所への対策を。
  - 消防団員の指導、訓練の強化を。
  - 地域活動の担い手の人材育成を。
  - 市営住宅の修繕を計画的に。
  - 防犯灯のLED化の推進。
  - 水路の整備で除排雪にも活用を。

- 原木シイタケの出荷自粛の解除について。
- 分散する福祉施設の集約した整備。
- 生活道路の早急な補修と整備。
- 狭あい道路の整備に地権者の土地提供の条例化はできないか。
- 観光地を循環する道路網の整備を。
- 保育所運営の主体の一本化を。
- 桜並木のマイマイガ対策を。
- 若者の居場所対策としての空き家利用を。
- 期日前投票所を増やして投票率の向上を図るべき。



## 小友会場

- 会場：小友地区センター  
 参加者：15名
- 農業生産額に、大企業の行っている畜産の金額が含まれるのであれば、内訳を明確に。
  - 市のホームページの更新を迅速に。公開する数字には、統計等で処理する前の生の数字もほしい。
  - 児童生徒数の関係で小学校と中学校で入れ替えたスクールバスの小学生仕様への対応を。
  - 老朽化している橋梁の強度調査を。
  - 除染がなされていない急斜面の草地に対策を。

- 補修を要する市道のパトロールと、計画的な補修を。
- 本庁舎整備事業の進捗状況は。

## 附馬牛会場

- 会場：附馬牛地区センター  
 参加者：22名
- 携帯電話の通話エリア拡大を、さらに広げてほしい。
  - 本庁舎整備用地は、元の場所と比較して費用はどうか。
  - 木質バイオマス事業は、個人の山林の間伐材も活用するなど、個人の利益にもつながるのか。
  - 早池峰バスの路線の見直しなどの今後の見直し。
  - 中小零細農家を大事にする政策を求めたい。

## 松崎会場

- 会場：松崎地区センター  
 参加者：25名
- 34世帯80名余りが生活する住宅団地内の道路整備を要望する。
  - 狭あい道路の対策について、市に調査を求めたい。
  - 大雨時にあふれ、水田に水が入る側溝の整備を。
  - 市道の冬期間の吹きだまり対策に、ネットの設置を。
  - 子どもや親が安心安全に楽しめる公園



- 環境整備を。視覚障害のある人のために、議会だよりも音読してもらいたい。
- サッカー場A面は地区行事に使えないがなぜか。B面の砂ぼこり対策を。
- 市議会選挙において女性立候補者がないのは残念。

- 対策と環境の整備を。
- 公共施設のトイレに不具合な箇所があるので改善を。
- 日中に仕事があるために、議員になることの障害となっているならば、夜開催の議会も検討してみたい。
- 合同金婚式の案内の仕方について、どのようなになされているのか。

- 地区センターの機能充実により、1次産業分野の相談にも対応してほしい。
- 地区センターの正規職員配置を見直す必要はないか。



- 会場：上郷地区センター  
 参加者：16名
- 冬期間に傷んだ道路の補修への対応を。
  - 人口減少対策で、専門学校・専修大学の誘致等を考えるべきでは。
  - 企業誘致対策で、住宅や住宅を建築し、安価に提供してほしい。
  - 地区センターで一部窓口業務を行うなど機能強化・充実を。
  - 原木シイタケの出荷解除の状況、山菜の問題もあるが、市内における多面的機能支払制度への取組状況は、会計事務は委託できるのか。
  - 農家の嫁対策にどう取り組むか。

- 市民と議会との懇談会は、年2回の開催を希望する。
- 学校施設の安全面を調査し、事故の防止を図ってほしい。
- 銀河の森の展望台からの眺望の改善。
- 大洞カルスト、寺沢高原の観光資源としての整備を。
- 緑のふるさと協力隊の活動を、点から線、面に広げる取組を。
- 防犯灯のLED化に合わせて、街路組合等で管理する照明もLED化を。
- みんなで築くふるさと遠野推進事業の対象の見直しを。
- めがね橋観光お花畑構想について、検討をしていただきたい。

- 新たな地区センターの設置にあたって、正規職員を配置する

- 会場：土淵地区センター  
 参加者：27名
- 中学校跡地の道路整備について要望する。
  - ふるさと納税制度について、積極的に取り組んでみる考えはないのか。
  - シカによる被害で、貞任高原の水芭蕉が少なくなっている

- 会場：青笹地区センター  
 参加者：15名
- 放射能汚染でシカ肉の出荷・販売は自粛。解除に取り組み、近隣で取組んでいるジビエ料理を検討してみたい。
  - ニホンジカ捕獲応援隊に、何らかの補助制度を。
  - 団体リーダーの育成や、会員数の増加に取り組むべき。
  - 営農組合の組織化に向けて、明確な方針やビジョンを。

- 会場：みやもりホール  
 参加者：15名
- 地域における見守り隊のために、防災と福祉が一体となつて取り組んでほしい。
  - 宮守総合支所の機能を維持してほしい。
  - 宮守町内を3地区センター化する場合のメリット、デメリットを示し、住民と議論を深めてほしい。

- 会場：みやもりホール  
 参加者：15名
- 地域における見守り隊のために、防災と福祉が一体となつて取り組んでほしい。
  - 宮守総合支所の機能を維持してほしい。
  - 宮守町内を3地区センター化する場合のメリット、デメリットを示し、住民と議論を深めてほしい。

分野別	件数	主な内容
インフラ整備	39	生活道路、橋梁、水路、除排雪、空き家、観光施設、公園
市民生活	30	行政区、消防団、人材育成、地区センターのあり方、防犯灯、子育て支援、防災、市民協働事業、公共交通
放射能対策	12	除染対策、シイタケ等出荷制限解除の取組
農畜林業	10	営農組合、多面的機能支払、後継者
産業経済	9	木質バイオマス、雇用の場、誘致企業、移住
議会	7	懇談会の開催時間・回数、広報活動
情報公開	3	ホームページの更新、多様なデータの公開
学校教育	2	土曜授業、学校施設の安全対策
選挙	2	期日前投票所の増設、女性立候補者
震災復興	1	被災者への支援に感謝
合計	114	